

マスク着用の基本的な考え方

- ◎ 屋外ではマスクの着用は必要ない。ただし、人との距離がなく、かつ、会話をする場合には、マスクの着用を推奨する。
- ◎ 屋内ではマスクの着用を推奨する。ただし、人との距離があり、かつ、会話をほとんどしない場合は、着用の必要はない。

マスク着用の基本的な考え方

会話を行う

会話をほとんど行わない

屋外

身体的距離を確保できる
(2m以上を目安)

身体的距離を確保できない



屋内

身体的距離を確保できる
(2m以上を目安)

身体的距離を確保できない



- 【留意事項】◎ 夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。また、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時は、熱中症対策を優先し、マスクを外すよう指導。
- ◎ お年寄りと会うときや病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

小学校就学前の幼児の取扱い

- 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- 2歳以上児については、保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離に関わらず、マスク着用を一律には求めない。なお、施設内に感染者が生じている場合等において、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる。